

高社小学校説明会 顛末書

名 称	高社小学校説明会(第1回目)
日 時	令和元年5月16日(木) 午後6時30分～午後8時48分
会 場	平岡小学校 体育館
参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・一般参加者数(準備委員会委員含む) 129名 ・報道関係 1者 ・教育長、教育委員及び事務局職員等 17名
次 第	<p>進行：花岡教育次長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ(小嶋教育長) 3 説 明(宮嶋学校教育課長) 4 質疑応答 5 閉 会
主な質問・意見等(要約)	<p>《科野地区 男性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 越区は徒歩通学の通学路はどこを想定しているか。歩道の状況はどうか。 <ul style="list-style-type: none"> → 越橋を渡り、数10m程のところを左折し、南越、金井区を通り小学校まで行くルートを考えている。交通量の多い、越橋を渡ってから村中に入るまでの区間については、既に歩道は設置済みである。 ● 冬場、児童の通学時間帯に除雪はしてあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 今冬の大雪時に確認した結果、除雪はしてあり問題は無いと考える。 ● 各バス停に近い越の児童はスクールバスを利用できるのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 通学は、原則、行政区毎としているので、越区は徒歩通学である。 ● 市道平岡10号線の歩道設置に向けての現状や予定はどうか。 <ul style="list-style-type: none"> → 予算としては、幅員等構造上の調査費が計上されており、調査が終了すると、用地買収等を行っていきと想定されるが、現時点における設置予定時期は未定である。また、早期の設置に向けて道路管理者である市の担当部局へ要望していきたい。 ● 市道平岡10号線に歩道が設置された場合、外灯を設置する予定はあるか。 <ul style="list-style-type: none"> → 基本的に外灯の設置は、区で設置するようになる。市は補助金を交付する。歩道が設置された場合は、区と教育委員会等でも外灯の設置に向けて協議していきたいと考える。 ● 全国でも児童や生徒が巻き込まれた事件や事故が発生している中、是非、安全面に配慮するうえで、少なくとも外灯、欲を言えば防犯カメラの設置を検討してもらいたい。 <ul style="list-style-type: none"> → 防犯カメラなどの設置も含めた安全対策を検討する中で、地域の皆様においても子どもたちの見守りについて御協力いただきたい。 <p>《科野地区 女性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通学路の経路図を配布してもらいたいが可能か。 <ul style="list-style-type: none"> → 今月中に児童を通じて配布する。 <p>《平岡地区 男性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外灯設置における市の補助金は今年度で終了するのでは。 <ul style="list-style-type: none"> → 終了ではなく、補助率に変更があるとのことで承知している。 ● 新たに徒歩通学路として利用する路線に、区で外灯整備をした場合、補助金の補助率に変更があることとなると、区民の負担が増えるおそれが考えられるため、教育委員会等で外灯設置や維持管理をお願いしたい。 ● 総合的な学習においては、是非、保護者を巻き込んだ形で様々な活動を実施してもらいたい。 <ul style="list-style-type: none"> → 今後、地域の方とどんな形にしていくか検討していくが、意見を参考にして検討していきたいと考える。 ● 平岡小学校のところの横断歩道は、赤舗装にしていきたい。子どもたちが

歩いたりする南側の面も一層のこと全部を赤舗装にしてもらいたい

→ 市の交通安全所管部署及び道路管理所管部署、教育委員会、警察なども含めた会議があるので、その中でもどのように対応できるのか検討していきたいと考える。

- 各学校に飾ってある校歌などはどういった形にするのか。

→ 校歌や校旗などは資料室に保管するほかショーケースを用意し飾っていききたいと考える。

《科野地区 男性》

- 越区の私の家からは市道平岡10号線が一番近い道路だが、その道路が使わないで越橋を通るルートだと約2.5km程である。行政区で通学方法が決定したとの説明があったが、柔軟に状況をとらえていただき、行政区を超えてもスクールバスを使える配慮をしていただくようにできないか。

→ 児童の体力づくりの面や時間的制約を受けないことを考慮すると徒歩が一番効果的だと考える。なお、教育委員会でも越区が一番遠いところから距離を確認したところ、約2.6km程であり、平岡地区の長元坊から通学している児童と同程度の距離である。

- 徒歩通学のルートとして、大阪屋商店のところを左折していくと思うが、基本的に農道で決して広い道路とは言えないので、通学時間帯は交通規制にするなどできないか。

→ 教育委員会において、道路事情や冬場の除雪状況などを確認した結果、安全であると考えられるため、通学路として想定している。

- 1、2年生が大きいランドセルを背負い、重い荷物を持って、2km強も歩いている姿をみたくないと思っているので、スクールバスを使えるのであれば、使わせていただきたい。

→ 特に低学年の児童の体力面での疲労も憂慮されるので、そうした場合には考えていかなければならないと考える。

- 通学方法で例外はあるのか。

→ 児童の様子などの状況により、個別に対応するケースもあると考える。

《倭地区 女性》

- 平成27年9月1日に倭小学校で開催された中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針案についての市民説明会で出されたスクールバスの質問に対して、教育長は、スクールバスの停留所やコースをどこにするかをきめ細かく考えていかなければならないという回答でしたので、倭地区の人たちは、当然、スクールバスでの通学だと思った。基本方針の中に、通学路の安全確保で新たな通学路を検討する際、登下校の安全性が高いスクールバスの使用も検討すると明記されており、具体的な取り組みとして、新たな通学路を設定する場合や通学距離によってはスクールバスを運行すると明記されている。親としても路線バスよりスクールバスの方が、融通性は高いと思っているし、低学年と高学年を区切らずに通学できるスクールバスの方が自然の形だと思っていた。基本方針と教育長の回答から、倭地区の人たちはスクールバスが約束されたものだと思っていた。なぜ、スクールバスでの通学方法だったはずが、路線バス第一で決定されているのか。

→ 当時の中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針案についての市民説明会でスクールバスという話が出たのは事実である。水掛け論になってしまう可能性はあるが、当時の時点では、スクールバスに限らず、色々なことについて約束はできないという段階でした。その後、統合準備委員会で細部にわたり協議していただいた報告に基づき、教育委員会でも協議した結果、今回の通学方法の大原則に至った。教育委員会でも準備委員会と並行して、統合に関する様々なことを検討していた中で、通学方法に地域に走っている路線バスを活用できないか準備委員会に投げかけた経緯はある。検討の仕方については、路線バスありき、スクールバスありきで検討したのではなく、各々のメリットや課題を検討したうえで通学方法を決定した。

- 準備委員会だより第6号に「スクールバス（公共交通含む）」と記載されているが、通学・安全部会が開催されていない間に、どうして公共交通が出てきたのか。
 - 準備委員会だよりについては、準備委員会で議論された内容のほか、教育委員会や総合教育会議で議論した内容も記載している。

《科野地区 女性》

- 学級数における各クラスと特別支援学級の予定人数は。
 - 予定人数については、1年生53名（27名・26名）、2年生62名（31名・31名）、3年生77名（26名・26名・25名）、4年62名（31名・31名）、5年57名（29名・28名）、6年66名（33名・33名）で、特別支援学級は5名と6名程度と想定している。

《科野地区 女性》

- バス通学において、私の家は赤岩でも柳沢寄りであり、バス停も柳沢のバス停に近い
ため、乗車するバス停については保護者で決められるようにできないか。
 - 可能である。

《倭地区 男性》

- 4小学校が統合することによって、どういった部分が教育の質の向上となるか。
 - 高社小学校では、ICTを活かした教育や学び合いの授業の分野を進めていく予定であるが、現在、高社中学校でも当該分野の教育を進めているため、4小学校が統合することによって、小・中学校あわせた9年間で、より質の高いものとして当該分野を進められると考える。
- ICTは何の略か。
 - パソコンやタブレットを活用した学習である。
- それを使うと質の向上となるのか。
 - 算数の授業で答えを出すための道筋において、図を描くことや、計算の仕方を説明することで例えると、従来であれば、児童一人ひとりの考えを全員が共有するのは現実的に難しいが、電子黒板やタブレットを利用すると、それぞれの児童の考え方が全て画面に表示することができ、そうしたことにより児童がどう考えたかの説明が従来に比べわかりやすくなることで学習環境も向上し、また、表現力もつくとも考える。

《倭地区 女性》

- 同じ地区内にバス停が2つある場合、学校若しくは教育委員会で、近い方のバス停で乗車しなければいけないなどといったことを決めるのか。
 - バス停については限定することは考えていない。
- 資料にスクールバスを昼間も活用し、校区全域を学びの場としていくと記載があるが、昼間にもスクールバスを使うとなれば、どうして路線バスを利用しなければいけないのかと思う。
 - 今回、スクールバスを2台購入する予定だが、その2台を昼間も活用することである
- スクールバスを購入して昼間も活用するのであれば、全児童をスクールバスに乗せて通学する方法を考えていただけないか。
 - 路線バスの活用については、路線バスのメリットを考慮する中で決定した。
- 本日の資料を見ても、私自身はスクールバスの方がメリットはあると考える。

《科野地区 女性》

- 赤岩区の児童で、柳沢のバス停に近い場合は、柳沢で乗車してよいか。
 - お見込みのとおりである。
- バス停までの通学路はどうなるのか。
 - 経路図を配布する。

《長丘地区 女性》

- 私の家は古牧寄りのため、古牧のバス停を利用することになるが、年度毎でバス停が変わることはあるのか。
 - バスの乗車箇所については、現時点は何とも言えないが、乗車人数の関係で、来年は古牧バス停、再来年は長丘小学校バス停といった場合も考えられる。
- 変電所から古牧バス停までの区間については、外灯も無く幅員も狭いことから危険であるため、そこを通過して通学させたくないと思うがどうか。
 - 検討していきたい。

《倭地区 女性》

- 私自身は路線バスでの通学は反対でスクールバスでの通学を再検討していただきたいと思うが、仮に路線バスを使うとして、平岡小学校入口バス停にはバス待合所が無いため、天候の悪いときや日差しの強いときなどに児童を待たせることについて心配である。また、湯本工務店付近の交差点に信号機はつくのか。
 - 路線バスの学校敷地内への乗り入れについては、事業者において前向きに検討されている。湯本工務店付近の交差点については、通学路となっていない。関連で、田上バス停や柳沢北バス停において、バスを下車してから道路を横断する際、横断歩道が無いことも課題として承知している。

《平岡地区 女性》

- 資料における人権教育のところに、同和問題の題材として、「草つき穴」の現地学習を行うとあるが、「草つき穴」とは何か。
 - 「草つき穴」とは名称で、過去に被差別部落があった地域の近くにある場所である。
- 不審者が出た場合の対応はどう考えているか。警察の巡回とかを市で要請するのか。
 - 他の小学校同様に学校における保護者への連絡メールや通学路の変更、警察や市でも巡回したりする。

《科野地区 男性》

- 他自治体で冬期間にスクールバスを運行しているところがあるが、そういったことを検討できないか。
 - 今冬の大雪時の通学時間帯で現地を確認したが、除雪されており問題ないと考ええる。
- 子供の足で雪道を歩くとして越の一番遠いところから学校まで行くにどれくらい時間がかかると考えているのか。なぜこういったことを言うかという、家族全体で子どもを送り出さなければいけないので、是非、家族のことも考えていただきたい。また、越から学校まで行くに、長元坊と同程度の距離との説明があったが、長元坊と比べ、曲がり道も多く、道路勾配や雪の降り方も違う。長元坊の児童が徒歩通学だから越区の児童も徒歩通学でということではか思えない。
 - 決して、何処どこの児童が歩きだからなどの理由で、通学方法を決めているのではなく、道路事情等を考慮したうえで、通学方法を決定している。
- 提案であるが、ふれあいバスを冬期間だけでも早く動かして対応できるようにできないか。
 - ふれあいバスの利用なども含めて検討してきた中で、今回の通学方法の決定に至った。
- 放課後児童クラブの通所方法について、放課後児童クラブへ通所する児童はバス利用が可能となっているが、通所できる定員が溢れてしまった場合、児童クラブを利用できないのか。
 - 溢れないように考えていきたい。
- 放課後児童クラブを利用しない児童は徒歩で帰るのか。
 - お見込みのとおりである。

《長丘地区 男性》

- 長丘小学校区で一部基準が超過しているところは具体的にどこか。
→ 古牧区である。
- 古牧区の児童の通学方法は、児童がいる限り、スクールバスでの通学でよいか。
→ お見込みのとおりである。

《科野地区 男性》

- 本日の説明会の質疑応答について公開されるのか。
→ お見込みのとおりである。
- 私の子どもはバス通学になるが、道を挟んだ越の友達はバスに乗れないことについて、子どもに対して納得のいく説明ができない状況である。通学方法については、行政区で決めるのではなく、厳密に距離で分けるとか柔軟に対応していただけないか。
→ 通学方法の原則は、今まで説明してきているとおりである。ただし、極端な例でいうと、地域自体に児童が2人しかいなくて、行政区は異なるがほぼ隣り合っており、片方がバス通学でもう片方が徒歩通学というケースがあった場合、個別のケースとして検討しなければいけないと考える。

《平岡地区 男性》

- 長丘、科野、倭地区においては、統合で学校が無くなってしまうと、今後、JAも閉鎖の見通しもあるため、地域の人が地域活動に利用できる施設が無くなってしまう。例えば、地域には区長会や遺族会、老人クラブなど地域の団体が幾つかあるが、今後、このような団体はどの施設を利用して活動していけばよいか。閉校になった学校を地域の団体に使わせていただけることはできないか。
→ 今後、閉校になった学校施設については、跡地利用の担当部署において、市民の方へアンケートなどを行うとのことを聞いている。また、市では、他にもたくさんある公共施設について、人口が減っている中、施設をどうしていくのかを検討している。今後、市民の意見等とあわせ、更に検討されていくと考える
- 平岡地区の地域の団体は今までJAを使ってきたわけですが、閉鎖するとの見通しがある。平岡地区は統合校として学校が残るため、空き校舎として利用することはできない。平岡地区の団体はどの施設を利用すればよいか。
→ 的確な答弁はできないが、北部公民館や地区の公民館を上手に活用していくのも一つの方法であると考え。
- 地域の団体が集まる場所というのは、地域がうまくいくか寂れていくかの問題にも繋がると思うので、大事に考えていってほしい。

《平岡地区 男性)》

- 統合して変わることは何かと考えたときに、1つは子どもの数だと思う。今までは、小規模だったのが、学級数が増えるなどし、学校が変わるといふのがある。もう1つは、4小学校のうち、平岡地区以外の学校が無くなることにあたり、グランドデザインに記載されている「ふるさと」をどのように捉えればと考えたとき、「広く」という言葉がグランドデザインにありました。今まで自分たちが考えていた「ふるさと」の捉えではなく、もっと広い「ふるさと」の捉えをしていかないといけないと感じた。新しい学校に期待することは、そういう特徴を活かしながら、子どもたちのためにどのような活動がいいのか探ってほしいことと、地区に中学校が1つ、小学校が1つとなるので、そういう点でも中学校との連携を模索していってほしい。あと、本日の説明会で一番嫌だなと思ったのは、前(教育委員会)に向かって敵対しているような感じがする。みんなで新しい学校をつくっていくのに、みんなで一つにならないと、良い学校にならないと思う。開校まであと1年だが、本日出された意見などについて、地域の人たちが納得するよう対応いただき、早くみんなの気持ちが一つになっていただきたいと感じた。

《長丘地区 男性》

- 放課後児童クラブについて、長丘、科野、倭地区の児童が、平岡の児童クラブを希望

すれば利用することは可能か。

→ 平岡放課後児童クラブを利用したいという意見については他にも聞いているが、現状、当該児童クラブはいっぱいなので、それぞれの児童クラブを利用してほしい。

- 購入するバスについて、イメージとして学校専用のバスという形になるか。

→ マイクロバスを予定しており、1号車、2号車が見た目でわかるようなデザインで用意したいと考えている。

- マイクロバスは何人乗りを予定しているのか。

→ 大人2人掛けのところを子ども換算で3人掛けとし、最大で36人としている。

- 子ども換算で3人掛けにすることができるというのは理解しているが、少し乱暴だと思うので、乗車人数を少なくする方法をもう少し検討していただきたいと思う。

- スクールバスについて、運転手以外でバスに乗車する大人はいないということか。

→ 運転手以外に大人が乗って乗車確認などすることは想定していない。

- 親はまだ不安なところもあるが、子どもは統合を楽しみにしているので、楽しく通って楽しく勉強できるように、地域の人や保護者、教職員や行政が一丸となって、統合を進めていってほしい。